



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 アイサンテクノロジー株式会社  
代表者名 代表取締役社長 加藤 淳  
( JASDAQ コード番号 4667 )  
問合せ先 経営企画室長 曾我 泰典  
( Tel 052-950-7500 )

中期経営計画(2019年3月期～2021年3月期)の策定について

当社は、このたび新中期経営計画（2019年3月期～2021年3月期）を計画期間とする中期経営計画を別紙の通り策定しましたので、お知らせいたします。

以上



# Challenge & Rebuild

# 新中期経営計画 FY2018-2020

2018年5月11日

アイサンテクノロジー株式会社



# 目次

---

**1. 前中期経営計画 (FY2015-FY2017) の振り返り**

**2. 新中期経営計画 (FY2018-FY2020) について**

# **1. 前中期経営計画 (FY2015-FY2017) の振り返り**

## 前中期経営計画(FY2015-FY2017)の振り返り

(単位:百万円)

	2016年3月期		2017年3月期		2018年3月期	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
売上高	3,000	2,794	3,300	3,236	3,800	4,332
営業利益	330	317	320	334	380	352
売上高営業利益率	9.50%	11.38%	9.70%	10.33%	10.00%	8.13%
経常利益	325	316	315	315	370	348
当期純利益 ※	215	213	205	272	225	238
配当金(円)	8	9	10	11	12	12

※会計基準改正に伴い、連結財務諸表においては、「親会社株主に帰属する当期純利益」と記載しております。

1. **売上高は計画修正した平成30年3月期計画を超過する結果を残す。**
2. **各利益は、凡そ計画通りの推移も新中期経営計画での成長戦略のための投資等により固定費が増加し利益率は減少**
3. **配当は計画を上回る実績で株主の皆様へ利益還元。**

## 前中期経営計画(FY2015-FY2017)の振り返り

### 2018年3月期のコミットメント

- 売上高をはじめ、すべての利益目標の達成
- 準天頂衛星時代を見据え、屋内外の位置情報サービス、自動走行支援向け高精度三次元地図データ、UAV「Winser」ならびに大規模点群高速編集ツール「WingEarth」を事業として推進
- 準天頂衛星を用いた位置情報サービスおよび三次元計測データを利活用を推進するシステム開発に引き続き重点投資を実施

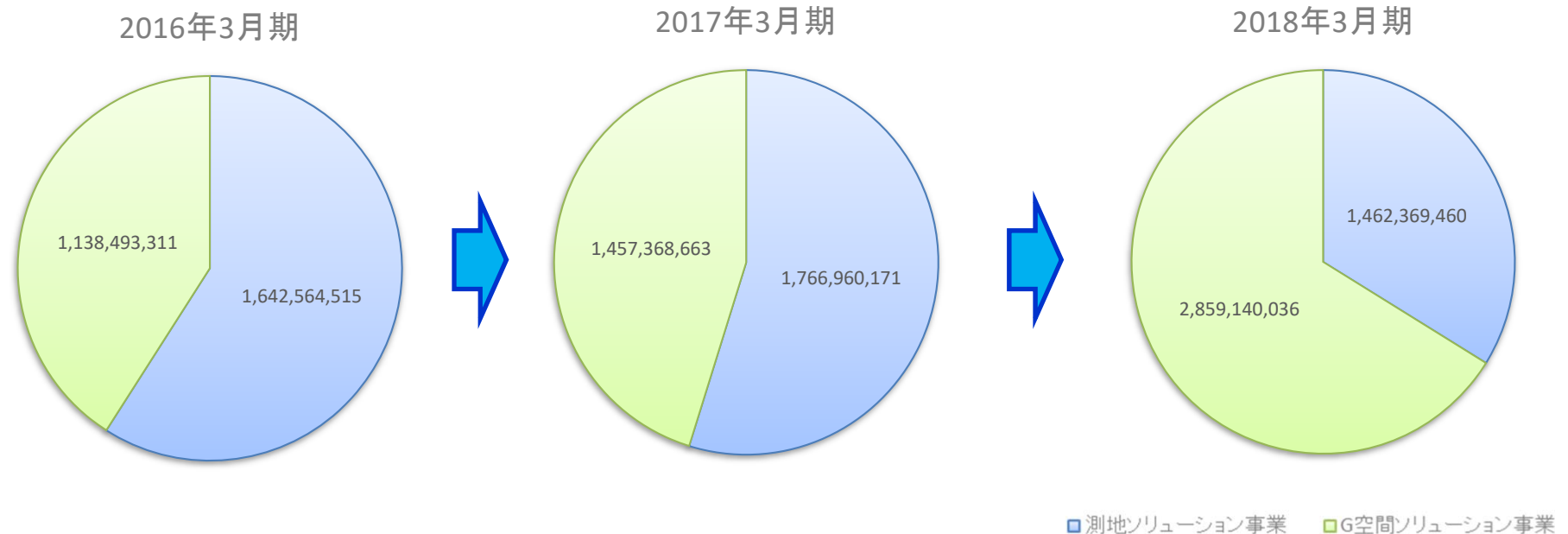


### 2018年3月期のコミットメントに対する結果

- 売上高は目標を大きく超える結果となった一方、利益目標は営業利益、経常利益は新中期経営計画で掲げる成長戦略の達成を目的とした人財、資産への投資を行ったことから、僅かに目標には届かない結果となる。
- 自動走行市場向けの高精度三次元地図データ整備及び一般道における自動走行実証実験は売上、利益に貢献する一方、位置情報サービスおよびUAV「Winser」は、製品開発に時間を要し、収益に貢献する結果には至らず。大規模点群高速編集ツール「WingEarth」は一定水準の利益貢献を果たす。
- 新中期経営計画での事業化を目指し準天頂衛星を用いた位置情報サービスの研究を実施。三次元計測データを利活用を推進するシステム開発は「WingEarth」機能強化とともに高精度三次元地図の社内生産ツールとしても利活用を進めた。

# 前中期経営計画(FY2015-FY2017)の振り返り

## セグメント別売上比率推移



1. G空間ソリューション事業は順調に成長。
2. G空間ソリューション事業の2018年3月期は一過性の大型案件により比率を急激に押し上げている。
3. 測地ソリューション事業は売上規模に大きな変動なく、全体の売上が伸長する中で相対的に比率が減少。

---

## **2. 新中期経営計画 (FY2018–FY2020) について**

---



## 経営方針

---

### 社是

- 一、知恵 知恵それは無限の資産
- 二、実行 知恵は実行して実を結ぶ
- 三、貢献 実を結んで、社会に貢献

### 経営理念

知恵で地理空間情報のイノベーションを実行し社会資産の豊かな発展に貢献する

### 行動指針

- お客様 顧客満足度の追求
- 社員 豊かな創造力と自主性の発揮
- 株主 バランス経営による安定した利益還元
- 地域社会 事業と雇用創出及び納税

## 「Challenge & Rebuild」とは

---

**Challengeは、10年後目指すべき姿をイメージし、従来の常識に捉われず、新たな事業分野にチャレンジします。**

**一方、Rebuildは当社が上場した1997年から20年が経過し、当時と社会環境、市場環境、雇用環境は大きく変化しました。これまでもその環境に適合すべく、都度社内体制、ビジネスモデルの変化を行ってききましたが、今一度、10年後を見据えた制度設計が必要と考え、すべての面で再構築を行います。**

**ともに、10年後を見据えたスタートの3か年として新中期経営計画を策定いたしました。**

## 新中期経営計画期間における経営目標

---

- 1. 売上50億円、営業利益5.5億円を目指す。**
- 2. 利益率の高い自社ソフトウェア製品の刷新を進め  
新たなサービスモデルによる提供も目指す。**
- 3. 自動走行が実現する社会において当社の強みの技  
術を活かすビジネスモデルを構築する。**

## 外部環境について

機会	<ul style="list-style-type: none"><li>① みちびき4機体制になり実用化が2018年11月より開始</li><li>② 新元号、Windows7等のシステム入れ替え需要</li><li>③ 2020年に向けて建設業界活況化</li><li>④ 自動運転分野における投資拡大</li><li>⑤ 一般道における自動走行実用化への期待</li><li>⑥ 三次元点群データの共通基盤化とオープン化の流れ</li><li>⑦ i-Construction義務化と生産性向上への期待</li></ul>
脅威	<ul style="list-style-type: none"><li>① 各種社会環境による需要の反動減</li><li>② 2020年以後の建設業界の需要減少に係る懸念</li><li>③ 高齢化社会による労働人口の減少</li><li>④ 所有から共有の時代に</li><li>⑤ 海外技術による国内市場への影響</li></ul>

## 業績目標

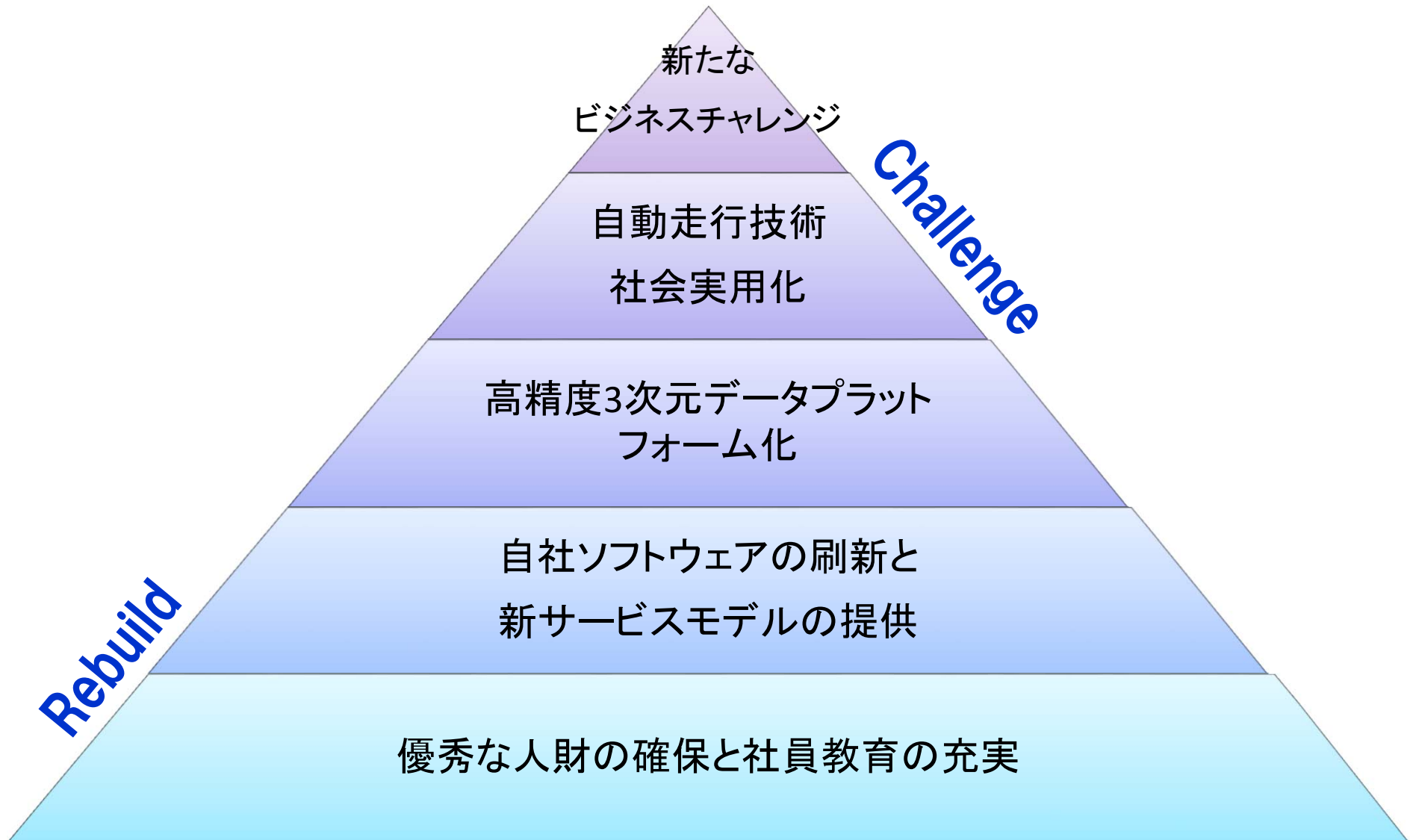
(単位:百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
売上高	3,650	4,220	5,000
営業利益	380	460	550
売上高営業利益率	10.41%	10.90%	11.00%
経常利益	360	450	540
当期純利益 ※	250	301	361
配当金(円)	13	16	20

※会計基準改正に伴い、連結財務諸表においては、「親会社株主に帰属する当期純利益」と記載しております。

1. 2019年3月期は減収増益の計画。
2. 2017年3月期からの着実な成長ラインの維持。
3. 利益率の高い自社開発製品の販売により売上高営業利益率を向上。

# 成長戦略



## セグメント概要

---

当社では事業内容から測地ソリューション事業とG空間ソリューション事業とに区分しております。

### 1. 測地ソリューション事業

- ① 不動産登記、測量関連のソフトウェアの開発、販売  
サポートサービスの提供
- ② 測量計測機器販売

### 2. G空間ソリューション事業

- ① MMS計測機器及びその処理ソフトウェアの販売
- ② MMS等を用いた三次元計測・解析業務受託
- ③ 高精度三次元地図データ整備
- ④ 自動運転関連事業(実証実験・システム構築)
- ⑤ 三次元点群処理ソフトウェアの販売

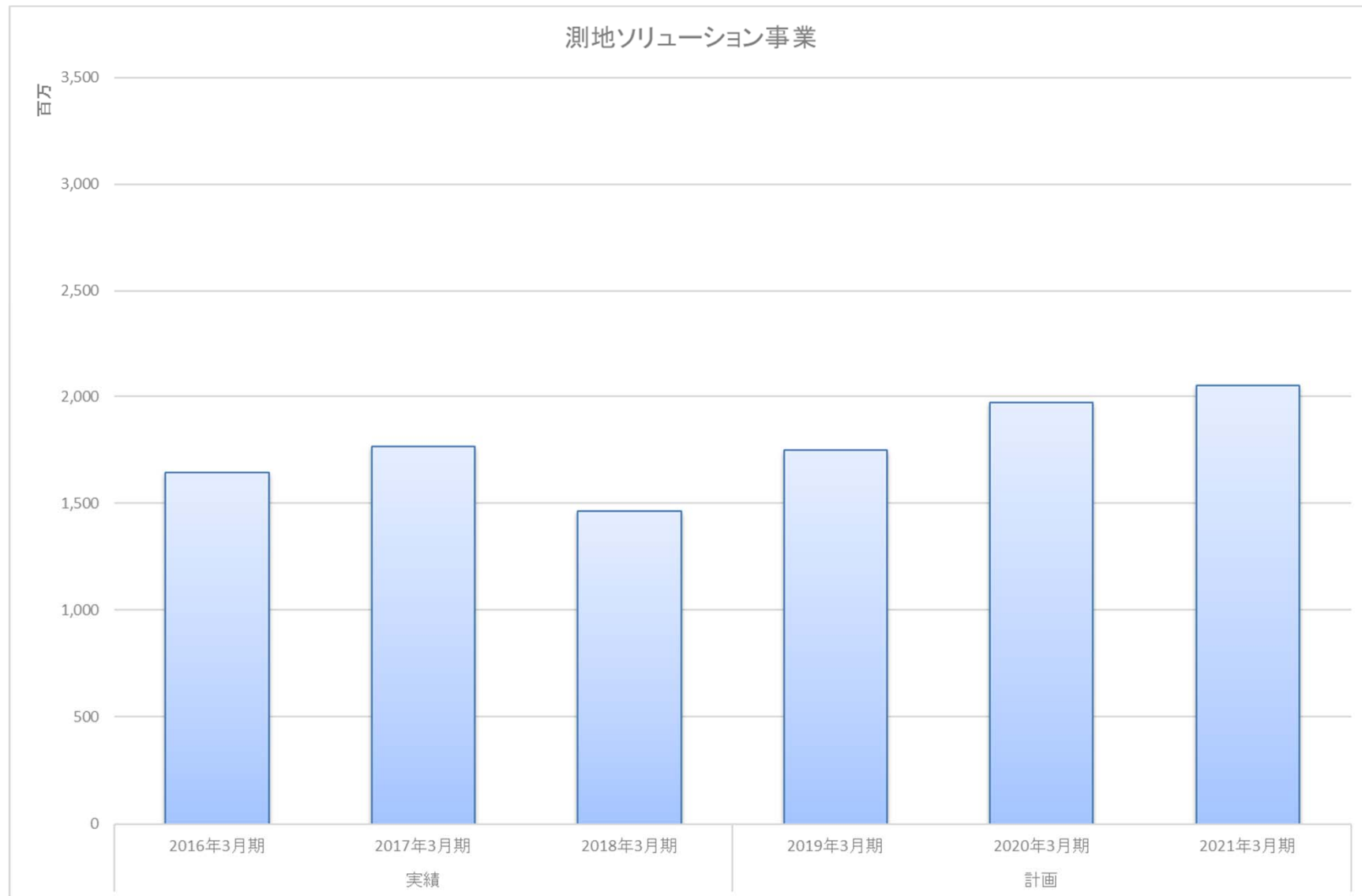
## セグメント別戦略(測地ソリューション事業)

---

- ① **自社ソフトウェア製品ならびにサポートサービスによる現状の収益確保を目指す。**
- ② **各種測量計測機器の販売を推進し、売上高及び市場占有率の確保を目指す。**
- ③ **お客様の業務をトータルソリューションし、安定的な収益確保を目指す。**



# セグメント別売上目標(測地ソリューション事業)

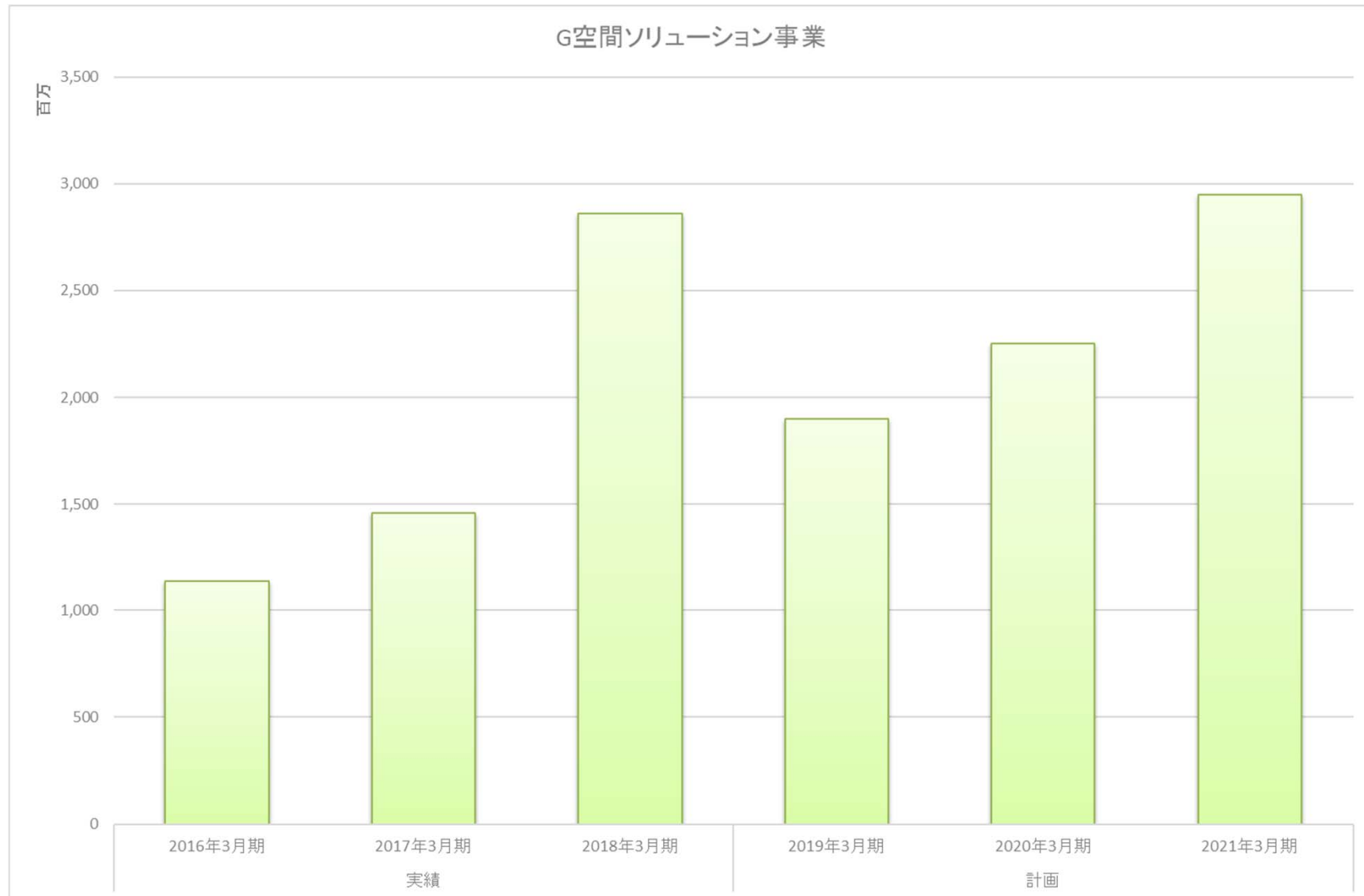


## セグメント別戦略(G空間ソリューション事業)

---

1. 準天頂衛星の利用により得られるリアルタイムの高精度な位置情報を地図上で最適な位置情報に整合させる技術研究開発と事業化。
2. 高精度三次元地図の開発と販売推進。
3. 自動走行関連システム機器の販売の強化を行うと共に、社会実用化を見据えた取り組みを進める。
4. 三次元関連計測機器とソフトウェア開発・販売事業分野において、三次元データを処理するシステムへの需要の高い伸びが期待されることから、新たな販売チャネル構築、販売方法など様々な施策を講じる。

# セグメント別売上目標(G空間ソリューション事業)



## 研究開発部門戦略

---

- 1. 次世代アプリケーションを見据えた  
新プラットフォーム開発。**
- 2. 三次元空間情報作成ソフトウェアの開発。**
- 3. 準天頂衛星「みちびき」などマルチGNSS  
アプリケーションの開発及び地殻変動補正  
の技術を活かしたサービス等の提供。**

## 株主還元方針と配当政策

### 基本方針

株主様に対して、当社グループの経営成績に基づいた成果配分を安定的に実施。

### 配当政策

配当金については、毎期の経営成績、投資計画、内部留保の状況などを勘案し、連結配当性向25%から30%を目標とし、安定的・継続的な配当を行うよう努める。

## 前中期経営計画期間における配当実績と新中期経営計画期間における配当計画

(単位:百万円)

	実績			計画		
	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
売上高	2,794	3,236	4,332	3,650	4,220	5,000
当期純利益 ※	213	272	238	250	301	361
配当金(円)	9	11	12	13	16	20
配当総額(円)	41,463	57,277	63,152	68,415	84,203	105,254
配当性向(%)	19.5%	19.1%	26.4%	27.4%	27.9%	29.1%

※会計基準改正に伴い、連結財務諸表においては、「親会社株主に帰属する当期純利益」と記載しております。

※2018年3月期の配当金は、2018年6月26日に開催予定の株主総会に付議することを決議しております。

## 資本政策

---

当社は、資本政策を考えるに際し、株主様共通の利益を目指すとともに、企業価値の向上に資するよう、取締役会において、その必要性、合理性を十分に検討し、適正な手続きを経て決定するとともに、株主の皆様に対して十分な説明を行うことを基本方針としております。

本資料に記載された情報や業績予想等の将来見通しは、資料作成現時点において入手可能な情報及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されております。今後、経営環境の変化等の事由により実際の業績や結果とは異なる可能性があります。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】  
アイサンテクノロジー株式会社 経営管理本部  
TEL: (052)950-7500  
お問い合わせURL : <https://www.aisantec.co.jp/contact/>